

県北中学校  
第1学年だより  
No.37

# 風

～冬風～

今だからこそできることに、  
粘り強く取り組もう！！



2020年1月31日

文責 高野 靖紀

## 第1回健康教室

1月29日（水）の6校時に大原レディース・クリニックの助産師である庵原順子先生をお招きし、上記の内容で講話をしていただきました。

「二次性徴」については、保健体育の授業の中ですでに学習を行っていますが、生命の誕生から二次性徴までを自分自身のこれまでの成長と重ね合わせながら講師の先生のお話を聞き、自分の性を受容することや異性や自他の生命を尊重することの大切さを学ぶことができました。

本日の第2回健康教室では、家族の方に書いてもらったメッセージを読んだり、DVDを鑑賞したりしながら、生命の大切さについて理解を深めました。また、生徒本人から家族へのメッセージを作成したので、後日ご家族の方にお渡しします。楽しみに待っていてほしいと思います。



私たちが生まれてくるまでには、大変なことがあるのだと分かりました。この時間を通して、親の愛情などがあったから今いるのだと気づくことができました。生まれるということは、どんどん命がつながっているのだと分かったので今の自分を大切にするのはもちろん、育ててくれた親へ感謝していきたいと感じました。

1組 鈴木さん

私は、命が誕生して米粒より小さかったのに、あっという間に3000gにも大きくなるのが一番印象に残りました。お母さんや周りの人たちが大切に育ててくれたということを改めて感じたので、自分の命も他の人の命も大切にしたいと思いました。



1組 佐藤さん

僕は今日の話聞いて、改めて知ったこと、驚いたことがたくさんありました。それは、生まれてくる前のお腹の中にいる時、最初は0.1mmしかないのが、10か月ほどで約50cmになって出てくることです。こんな小さい頃から、羊水などいろいろなものに守られて生きていたことを知り、産まれるすごさを感じました。

2組 赤坂くん

最初は、お母さんが生んでくれた大切な命だと思っていたのですが、お母さんだけでなく、おばあちゃんやおじいちゃん、お父さんなどいろんな人が命をつなげてくれたのだと今、改めて思いました。自分の命を大切に、無駄なことに使ってはいけないと思いました。これからも、この授業で教えていただいたことを忘れずに生活したいです。

2組 鈴木さん

命の始まりについて勉強しましたが、私たちは、子宮の中でお母さんが大切に育ててくれたから生まれたのだと、もう1度感じることができました。また、命の始まりの大きさがこんなにも小さくとても驚き、それに赤ちゃんの人形を持ってみて重さを確認することができました。これからも家族に感謝を忘れないようにしたいです。

3組 阿部さん

僕は、「命の授業」を受けて、どれだけ大変な思いで命ができ、生まれてくるのかが分かりました。赤ちゃんが最初は0.1mmなんて思っていなかったし、とても速いスピードで成長しているとは思わず、赤ちゃんってすごいなって思いました。今日の授業で、僕のお母さんがどれだけ苦労したかや、命の大切さをとても学びました。

3組 深澤くん

## 健康教室の様子



2月より、部活動終了時間が17:30 → 完全下校時間が17:45となります。

## 来週の予定

2月		3日(月)		
1	月1	・完全下校17:45		
2	月2			
3	月3			
4	月4			
5	月5			
6	月6			
普通授業		給食あり	普通清掃	部活あり

2月		4日(火)		
1	火1	・完全下校17:45		
2	火2			
3	火3			
4	火4			
5	火5			
6	火6			
普通授業		給食あり	普通清掃	部活あり

2月		5日(水)		
1	水1	・完全下校17:45		
2	水2			
3	水3			
4	水4			
5	水5			
6	水6			
普通授業		給食あり	普通清掃	部活あり

2月		6日(木)		
1	木1	・全校集会(放課後) ・完全下校17:45		
2	木2			
3	木3			
4	木4			
5	木5			
6	木6			
短縮授業		給食あり	簡単清掃	部活あり

2月		7日(金)		
1	金1	・議案書審議(5校時) ・完全下校14:50		
2	金2			
3	金3			
4	金4			
5	金5			
6	金6			
普通授業		給食あり	簡単清掃	部活なし